

2023年9月 定例市長記者会見

日時：2023(令和5)年9月12日(火) 午前11時
場所：郡山市役所本庁舎2階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 項 目

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社
・朝日新聞 ・テレビユー福島

4 閉 会

【項目一覧】

- (1) 令和5(2023)年9月補正予算の概要 別冊
- (2) 郡山総合体育館の整備内容を拡充 資料2
- (3) G-Placeとの連携による『タベスケ』の試験的導入 資料3
- (4) 建設工事における遠隔臨場の本格導入 資料4

配布資料 郡山市税の収納・滞納状況

郡山総合体育館の整備内容を拡充

～開成山地区体育施設整備事業（PFI事業）～



郡山総合体育館について、市民の皆様が、より「安全」で「安心」してご利用いただける施設とするため、排煙設備等の増設を実施します。また、これに係る設計・工事等に伴い、整備スケジュールを変更します。

1 工事の内容

- ① 排煙設備の増設等
 - ・排煙窓 → 東西、南側に増設 ※現状：東西の一部に設置
 - ・防煙壁 → 2階ロビー(東西、南側)に新設 [建築基準法第35条]

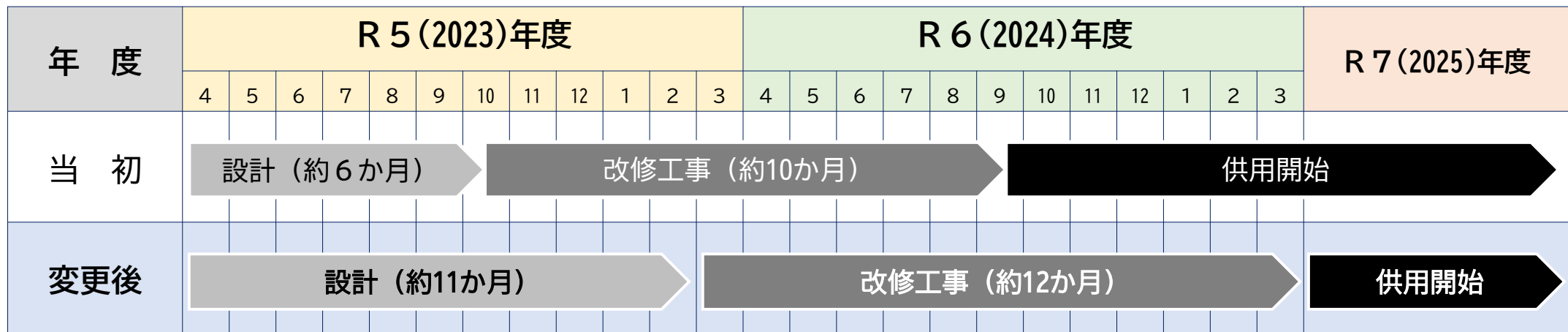
- ② スプリンクラー設備の増設
 - ・2階ロビー、エントランスホール、更衣室等に設置
 - ※現状：大体育館の北側に設置 [消防法施行令第12条]

2 変更契約の概要（特定事業契約）

項目	金額(税込)	備考
既契約	9,778 百万円	(令和5年3月定例会議決)
変更契約	10,431 百万円 (653 百万円増)	令和5年9月定例会上程

・契約相手方：開成山クロスフィールド郡山株式会社
・契約期間：2023年3月6日から2033年3月31日まで

3 整備スケジュール



(株)G-Placeとの連携による『タベスケ』の試験的導入



2023年9月 定例市長記者会見
資料3 環境部3R推進課

1 株式会社G-Placeの「タベスケ」とは

「タベスケ」とは、株式会社G-Placeが提供するフードシェアリングサービスです。賞味・消費期限が近い商品や規格外商品等を売上げにつなげたいお店と、お得な買い物をしたい消費者をつなげるマッチングサービスで、食品ロスの削減が期待できます。

会社概要 株式会社G-Place (ジープレイス)

本社 京都府長岡京市城の里10-9

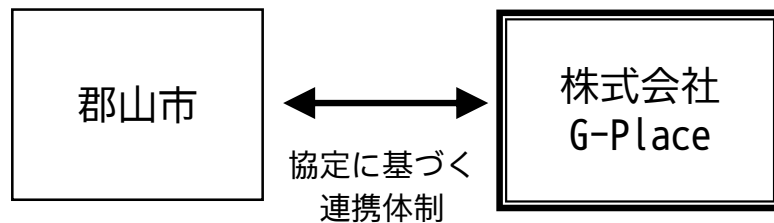
設立 1969年(昭和44)年5月16日

代表者 代表取締役会長 山中利一
代表取締役社長 綾部英寿

事業内容 ごみ有料化支援/アプリ・業務システム開発
森林資源再生事業/アグリビジネス 等

2 「タベスケ」試験的導入に関する連携協定内容

本市は、2023年10月下旬(予定)に株式会社G-Placeとフードシェアリングサービス「タベスケ」に関する協定を締結し、市内の食品ロス削減を進めます。



【連携事項】 ※市は、市内のタベスケの周知・広報に取り組みます。

- ・タベスケの導入に関すること **(無料)**
- ・タベスケの **1年間**の利用に関すること **(無料)**

※タベスケの利用状況から協定期間終了後の継続を検討します。

※タベスケを協定で導入するのは全国初の取り組み

3 タベスケ導入自治体

全国21自治体(2023年8月末現在)

- ・郡山市(協定全国初) 2023年12月~2024年11月
- ・福島市(福島県初) 2023年9月~
- ・仙台市(東北初) 2022年10月~ 23店舗登録
- ・姫路市(全国初) 2021年4月~ 45店舗登録

4 タベスケのご利用の流れ

お店



STEP1
スマホやパソコンから簡単登録



STEP2
余った食品や料理を登録・出品



STEP3
オファー成立後、現地にてお会計・引き渡し

消費者



STEP1
スマホやパソコンから簡単登録



STEP2
気になる食品やお店を検索し、決まればオファーをタップするだけ



STEP3
あなたの「お得」が地球環境を助けます

協力店説明会のご案内

2023年10~11月にお店向けの説明会を予定しています。
詳細が決まりましたら、お知らせします。

建設工事における遠隔臨場の本格導入

～建設工事タイプ・コスパ向上プロジェクト～



◆郡山市が発注する工事及び工事に係る委託（以下、「工事等」という。）において、現地での確認が必要な作業にモバイル端末を活用し、受注者及び発注者の業務効率化を図る。

【開始時期】9月1日～

※従来、各工事発注課で試行していたものについて、全庁で対応できるように環境を整備

概要

●目的

- ・2024年度から建設業に適用される時間外労働の上限規制(2024年問題)への対応
- ・建設工事のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進し、臨場にかかる移動時間の削減や立会いの調整時間の削減を図り、建設現場の働き方改革、生産性向上に資する取り組みを実施

●対象工事

- ・原則として全ての工事等を対象とする対応
- ・受発注者いずれかの発議による協議を行なった上で受発注者が希望する工事等に適用

●導入効果

- ・発注者：「段階確認」「材料確認」「立会」等に伴う移動時間の削減等
- ・受注者：立会い等に伴う待ち時間の削減等
- ・受発注者：新型コロナウイルス感染症対策、情報共有の迅速化

イメージ



【立会状況（現場側）】



【見えづらい箇所を確認した様子】

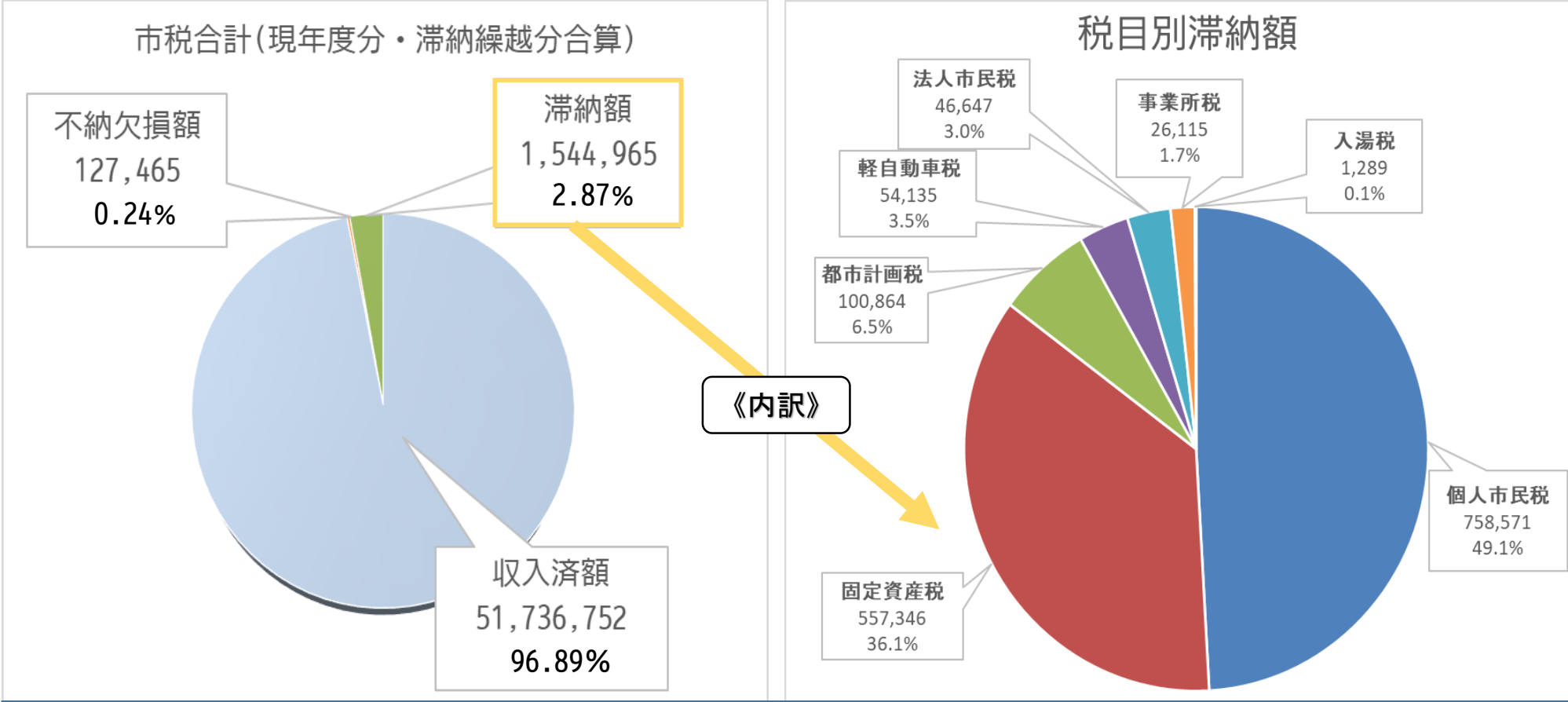


【立会状況（監督側）】



【電話連絡後、見えやすいように接写した様子】

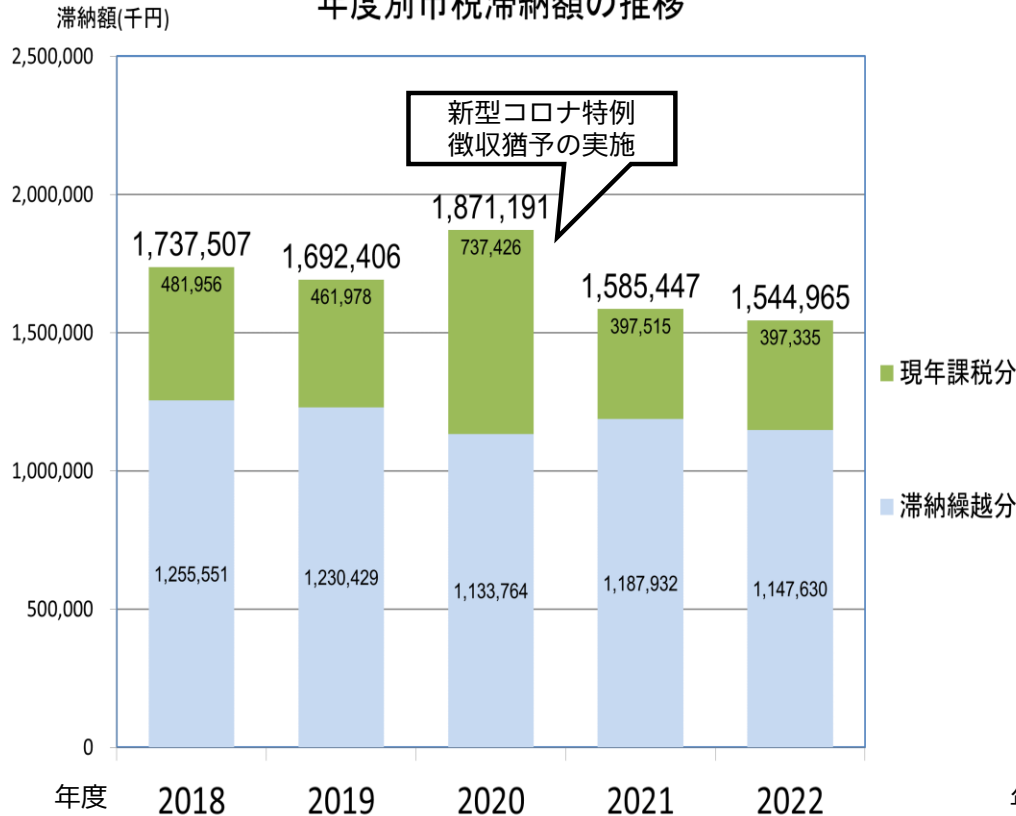
1. 2022（令和4）年度 郡山市税収納状況グラフ（単位：千円）



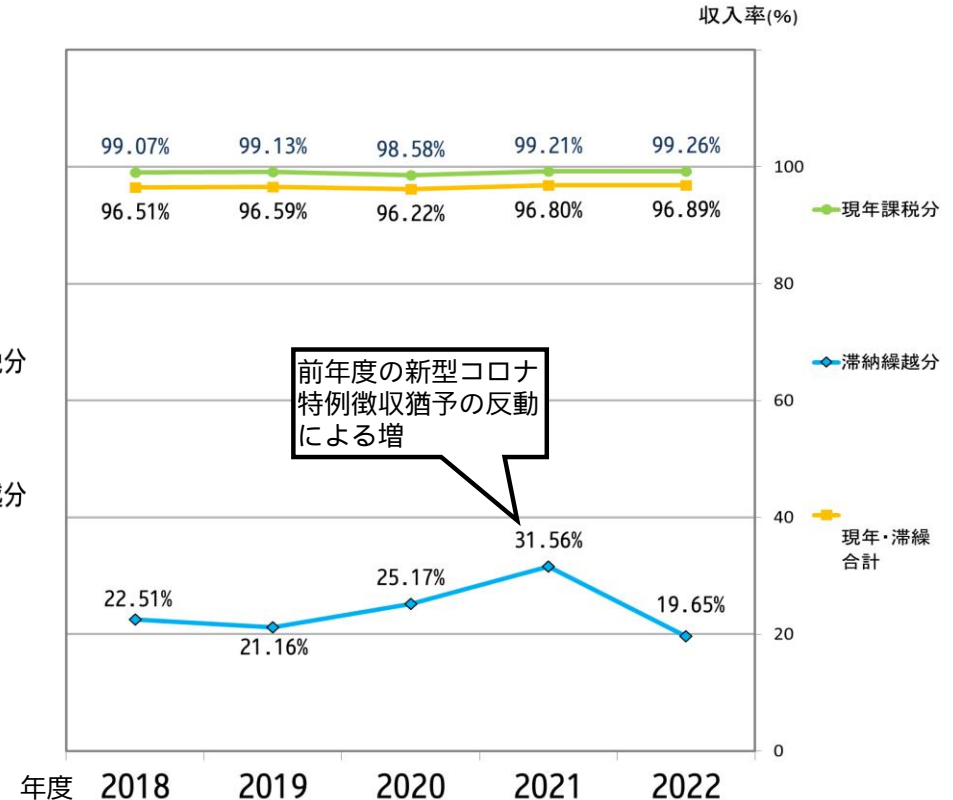
- このグラフは、2022年度決算見込額による収納状況について表示しています。
- 厳正な滞納処分方針とキャッシュレス決済の推進などによる利便性の向上に取り組んだ結果、**現年度分の収入率は99.26%**と高い率を維持しており、新規滞納額の抑制に努めています（裏面参照）。
- 滞納額は、次年度に繰り越され滞納繰越分としての徴収対象となります。
- 不納欠損額は、地方税法に基づき、無財産、生活困窮、所在不明、時効といったやむを得ない理由により収入困難額として処理した額となります。

2. 年度別市税滞納額・収入率の推移について

年度別市税滞納額の推移



年度別市税収入率の推移



2020年度には新型コロナウイルス特例徴収猶予の大規模な実施を行ったことに伴い一時増加しましたが、厳正な方針による滞納整理の進展と納付環境の向上に取り組んでいる結果、郡山市税の滞納額は減少傾向です。今後も税負担の公平・公正の原則に基づき、収入率の向上と滞納額の縮減に取り組んでまいります。